

子どもの自転車による事故

事故の概要

【事例①】下り坂を走行中、曲がるためにブレーキをかけたところ、前輪がロックして転倒し、重傷を負った。

【事例②】急な下り坂を走行中、ブレーキをかけたが転倒し、重傷を負った。

事故の原因

【事例①】自転車の前輪に何らかの異物が巻き込まれ、前輪がロックした状態になったものです。

【事例②】前後ブレーキの利きが悪い状態で急な下り坂を走行していたため、スピードが出過ぎてバランスを崩し、転倒したものです。



事故防止のために

- ◆ 使用を始めて1年未満の自転車で事故が多く起こっています。慣れるまで注意して運転操作をしてください。
- ◆ 傘を車体に差し込んだり、ハンドルに荷物をつり下げたの走行はしないでください。
- ◆ 自転車に乗車する際は、ブレーキの利き具合など、自転車に異常が無いか「日常点検」を行ってください。自力で点検を行うのが難しいお子さんが自転車に乗る際は、必ず保護者の方が点検、指導を行ってあげてください。
- ◆ 販売店等による「初期点検」「定期点検」を受けてください。また、長い間乗っていない時や、転倒など強い衝撃が自転車に加わった際も、必ず点検を受けてください。

